

次期5か年計画大綱概要説明（テキスト版）

【スライド1枚目】

- 県政運営の基礎となる計画である現行「5か年計画」が今年度をもって終了することから、令和9年度から13年度を計画期間とする新たな5か年計画の策定に向け、たたき台となる「大綱」を策定しました。
- 計画の基本理念は「あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる『日本一暮らしやすい埼玉』」とし、時代の潮流や埼玉県の高みを踏まえた上で、目指すべき3つの将来像を掲げ、9の政策、51の分野別施策を設定しました。
- また、将来像の実現に向けて取り組む、全ての施策を貫く横断的な視点として、3つの基本姿勢を設定しました。
- 今後、県民コメントなど皆様からの意見を伺った上で、この「大綱」をブラッシュアップし、埼玉県5か年計画案としてまとめていきたいと考えています。
- それでは大綱の概要について説明いたします。

【スライド2枚目】

- まず、「時代の潮流～2つの歴史的課題～」です。
- ここでは、「人口減少・超少子高齢社会の到来」、「激甚化・頻発化する自然災害など危機への対応」という、本県が直面する2つの歴史的課題を中心に、本県を取り巻く社会経済情勢や時代の流れについて整理しました。
- 「人口減少・超少子高齢社会の到来」についてです。
- 本県の人口は、総務省が公表した令和3年10月1日時点の人口推計で、初めて前年より減少しました。
- 令和7年国勢調査速報値による人口は約729万人で、令和2年の前回調査から5万人以上減少し、人口減少局面に転じたことが明らかとなっており、今後も減少する見込みです。
- また、生産年齢人口が減少する一方、65歳以上の高齢者人口は増加し、異次元の高齢化が進行することが見込まれています。
- 生産年齢人口減少下にあっても社会の活力を維持するためには生産性の向上が必要であり、それにはデジタルトランスフォーメーションが求められていますが、その遅れが課題となっています。

- 次に、「激甚化・頻発化する自然災害など危機への対応」についてです。
- 地球規模で進行する気候変動の影響により風水害が激甚化・頻発化しています。
- また、トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループ)などにより犯罪が複雑化・高度化しているほか、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢をはじめとする国際情勢が緊迫化し、不確実性が増大するなど新たな脅威や危機が身近に迫っています。
- 令和7年1月に八潮市内で発生した流域下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故を契機として公共インフラの維持管理の重要性が改めて認識される中、建設後50年以上経過する施設が今後急増するため公共インフラの劣化等による県民生活や経済活動への影響といった課題もあります。
- 時代の潮流を的確に捉え、埼玉県を目指す未来をしっかりと見据えることが重要です。

【スライド3枚目】

- 次に「埼玉県の強み」についてです。
- これは今回の大綱で新たに設置した項目であり、本県が有する強みとして主な4点を示しました。これらの強みを最大限に生かして課題解決に向けた施策を進め、持続的な成長につなげていきます。

- 1点目は、「充実した交通ネットワーク」です。首都圏約4,400万人の巨大マーケットの中央に位置した交通の要衝であることは、企業活動や物流・観光など様々な分野で活性化に寄与しています。
- 2点目は、「活力ある経済・市場規模」です。生産年齢人口割合は全国第4位という豊富な労働力があるとともに、直近10年間の本社転入超過数は全国第2位を誇り、多種多様な産業が集積するなど、大規模な消費地と生産地を併せ持つという経済優位性を有しています。
- 3点目は、「都市と自然が調和した暮らしやすさ」です。都市と田園などの自然が共存する多様な地域特性を持ち、子育て世代の転入超過数は全国第1位を誇るなど、住みやすさや子育てのしやすさに関して高く評価されており、誰もが安心して快適に暮らし続けることができる地域と言えます。
- 4点目は、「多彩な地域資源」です。全国有数のスポーツ・イベント施設や数多くの文化遺産など多彩な地域資源を有しています。これらの多面的な魅力を発信し、活力の創出につなげていきます。

【スライド4枚目】

- 次に「埼玉県の目指す未来」です。
- 大綱においては、「あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる『日本一暮らしやすい埼玉』」を、基本理念として明確に位置付けました。

- 基本理念の下、人口減少・超少子高齢化を前提としたまちづくりを通じて持続的な社会を構築し、活力を失わない埼玉づくりを推進するとともに、県民のウェルビーイングが向上し、誰もが輝き活躍する社会を構築します。
- また、基本理念の実現に向けた本県の目指す将来像を3つ掲げました。
- 1つ目の「安全で安心な社会」は、自然災害や危機から県民の生命・財産を守り、ハード面からソフト面に至るまで、強靱で復元力がある安全・安心な社会です。
- 2つ目の「誰もが輝き、活力ある社会」は、県民のウェルビーイングの向上を図り、誰もが個人として尊重され、個性や能力を最大限に発揮することができる活力あふれる社会です。
- 3つ目の「持続的に成長・発展する社会」は、環境・社会・経済の調和を基盤に、イノベーションの創出や生産性の向上を図り、人口減少下でも成長・発展する社会です。

【スライド5枚目】

- 続いて、基本姿勢です。
- 将来像の実現のため、全ての施策を貫く横断的な視点として、「デジタルの活用」「環境との調和」「多様性の尊重と平等の実現」の3つを掲げました。

- 「デジタルの活用」は、デジタル技術を社会全体に浸透させ豊かで快適な社会を目指すため、AIを含むデジタルを前提とした施策を構築・展開するものです。
- 「環境との調和」は、持続的に成長・発展する社会を目指すため、環境との調和を念頭においた経済成長と社会の豊かさを追求した施策を構築・展開するものです。
- 「多様性の尊重と平等の実現」は、県民のウェルビーイングの向上を図り、誰一人取り残さない社会を目指すため、多様な価値観を尊重しジェンダーの視点を取り入れた施策を構築・展開するものです。
- また、「計画を着実に実行する仕組み」として合理的根拠に基づく施策立案、政策評価・施策評価の実施などにより、計画策定による効果を最大限に発揮していきます。

【スライド6枚目】

- ここから政策の体系について説明する。将来像ごとにそれぞれ3つの政策を位置づけ、その政策の下に分野別施策が連なっています。
- 将来像1の「安全で安心な社会」では、「災害・危機分野」をはじめとする3つの政策を掲げました。

- 1つ目の「災害・危機分野」の「災害や危機に強い体制を構築する」では、公共インフラの劣化や損傷による災害耐力の低下などに対して必要な対策を進める「戦略的なインフラマネジメントの推進」など5施策に取り組みます。
- 2つ目の「生活安全分野」の「暮らしの安全・安心を確保する」では、トクリュウやサイバー犯罪など複雑化・高度化する犯罪に対応する「防犯対策の推進と捜査活動の強化」など5施策に取り組みます。
- 3つ目の「健康・介護・医療分野」の「健康で安心して生活できる社会をつくる」では、がん対策や生活習慣の改善への支援などを推進する「生涯を通じた健康の確保」など6施策に取り組みます。

【スライド7枚目】

- 将来像2の「誰もが輝き、活力ある社会」では、「こども・教育分野」をはじめとする3つの政策を掲げました。
- 1つ目の「こども・教育分野」の「こどもまんなか社会を実現する」では、安心してこどもを生き育てることができる社会をつくる「結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる社会づくり」など8施策に取り組みます。
- 2つ目の「共生社会・人材活躍分野」の「誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる」では、ジェンダー主流化等を推進する「女性の活躍推進と男女共同参画の推進」など6施策に取り組みます。

- 3つ目の「地域づくり分野」の「暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる」では、デジタルの力を活用して質の高いサービスを創出する「デジタルトランスフォーメーションの推進」など、6施策に取り組みます。

【スライド8枚目】

- 将来像3の「持続的に成長・発展する社会」では、「産業・農林水産業分野」をはじめとする3つの政策を掲げました。
- 1つ目の「産業・農林水産業分野」の「持続的で生産性の高い地域経済を実現する」では、企業のイノベーションや地域経済をけん引する企業の育成・誘致などを推進する「イノベーションの創出促進と企業誘致の推進」など7施策に取り組みます。
- 2つ目の「県土・まちづくり分野」の「未来を見据えた社会基盤を創る」では、コンパクト・スマート・レジリエントの3つの要素を兼ね備えた持続可能なまちづくりを推進する「住み続けられるまちづくり」など3施策に取り組みます。
- 3つ目の「環境分野」の「豊かな自然と共生する社会を実現する」では、環境と経済を両立させる循環経済への移行を推進する「サーキュラーエコノミーの推進」など5施策に取り組みます。

【スライド9枚目】

- 次に、KGIとKPIについてです。

- 最終的な目標の達成度合いを定量的に評価するための指標として、今計画から新たに、9の政策に対して16の政策指標(KGI)を設定しました。
- また、目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定する指標として、51の分野別施策に対して123の施策指標(KPI)を設定しました。
- 主なKGIとしては「人口1,000人当たりの刑法犯認知件数」や「人口の社会増の維持」「県内就業者1人当たり労働生産性」などを設定しました。
- KPIによる進捗状況などを踏まえて、施策の進め方について必要な見直しを行い事業の実施方法に反映することで、KGIが達成できるよう計画を着実に進めていきます。

【スライド10枚目】

- 次に「地域別施策」です。
- 県内各地域の市町村などと連携し、産業、自然、文化など特徴的な資源や環境を生かし、個性豊かで多彩な地域づくりに取り組むことが重要です。
- そこで、県内を都心からの距離に応じて県南、圏央道、県北の3ゾーンに区分し特性や課題を整理しました。

- さらに、日常生活圏のまとまりや鉄道・道路の交通軸などから10地域に区分して、各地域の現状や課題を踏まえ、分野別施策に示した取組のうち特にその地域で取り組むべきものを「地域づくりの方向性」や「主な取組」として整理しました。

【スライド11枚目】

- 県民コメントは、7月8日(水)から8月7日(金)の1か月間実施します。
- 「埼玉県5か年計画大綱」は、県ホームページや県民案内室などで公開します。
- 県民の皆様向けの説明会も予定しており、ホームページでアーカイブ配信も実施予定です。
- 皆様からのご意見をお待ちしています。